

基本目標	事業番号	事業名 (具体的な施策)	重要業績評価指標 (KPI) (平成31年度目標値)	H27年度	H28年度	H29年度 (現在値)	現在までの取り組み	担当課	事業効果	外部委員からの 事業評価・意見
【まちづくりビジョン1】 「しごと」づくり ・技術の拠点づくりにより 先進農業をささえる	1-1	新たな産業の拠点づくり	農業関連企業の誘致 1社	0社	0社	0社	<ul style="list-style-type: none"> ・【企業誘致】 これまでに、半導体関連、木質バイオマス発電、農業関連研究施設に関して、相談等があったが、誘致には至っていない。 ・【バイオマスエネルギー産業の誘致】 関係事業者等と、木質バイオマス燃料チップの生産工場の視察・ヒアリングを行った。(H28年度) ※グリーンプラント森のめぐみ湯前(熊本県球磨郡湯前町) 	まち・ひと・しごと創生室	農業の6次化を進める企業誘致の話が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に土地を用意しておけば企業誘致の話が進みやすいのではないか。 ・佐賀県は台風や地震の被害もなく、災害の影響がないという利点を切り口に、企業誘致を進めてほしい。
			バイオマスエネルギー産業の誘致 1社	0社	0社	0社				

【まちづくりビジョン1】「しごと」づくりに係る数値目標(5年間累計): 新規雇用創出数 100人

基本目標	事業番号	事業名 (具体的な施策)	重要業績評価指標 (KPI) (平成31年度目標値)	H27年度	H28年度	H29年度 (現在値)	現在までの取り組み	担当課	事業効果	外部委員からの 事業評価・意見
【まちづくりビジョン2】 「まち」づくり ・生産物の拠点づくり による新しい流れをつくる	2-1	交流拠点「道の駅」の設置	道の駅建設による 新規雇用創出数 60人	0人	0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・商圈調査や「道の駅住民会議」での議論を踏まえて「道の駅基本構想」を策定した。(H29年9月) ・現在、平成30年3月を目途に「道の駅基本計画」の策定に向けて、関係者との協議や作業を進めている。(※基本計画の中で、設置場所、具体的な機能・施設、資金等について定めることとしている) ・並行して、道路管理者である国や県との協議も行っている。 	まち・ひと・しごと創生室	「道の駅基本計画」の策定により効果を見込める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税は売りなので、もっと生かしてほしい。 ・総合拠点を置くには、上峰町はいい場所である。 ・農家に多種目されるように、情報提供や生産指導を行ってほしい。
	2-2	光BOX等ICTを活用した 情報発信拠点の整備	情報通信端末(光BOX)設置世帯数 800世帯 人口の社会減(転出超過の縮小) -0人	83世帯	107世帯(累計)	129世帯(累計)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌等で光BOXの普及活動を行っている。 ・起立工商協会が中心となり、議会の撮影動画とともに町の情報や暮らしに役立つ情報などのコンテンツを作成している。 ・【MIHARAS】を設置して農業等に役立つ気象データを取得し、町のHPやタウンチャンネルで確認できるよう、作業を進めている。 	まち・ひと・しごと創生室	効果を上げるため、今後も取り組みを継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIの「人口の社会減0」は、直接的な結果ではない。アンケートをとって満足度を図る等の、適切なKPIを設定すべき。
	2-3	農産物の6次化の推進	農産物加工施設の建設 1件 農産物加工企業の誘致 1件	0件	0件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工施設の建設や農産物加工企業の誘致を見据えて、道の駅整備に係る作業を進めている。 ・商品開発等を支援するため補助金交付や関係事業を実施している。(商品開発推進費補助金、H28年度地域づくり事業補助金、H28年度儲かる農業育成事業など) ・開発された商品は、ふるさと納税の返礼品として取り扱うことにより、WEBサイトやテレビCM・交通広告等を通じて、PRや販売促進等の一定の効果をあげている。 	まち・ひと・しごと創生室	「道の駅基本計画」の策定により効果を見込める。	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県内で、農産物の6次化で商品を作ったが売れないという問題があると聞くので、作るだけでなく売り方も考えるべき。

【まちづくりビジョン2】「まち」づくりに係る数値目標(5年間累計): 新規販売農家増加数 20戸

基本目標	事業番号	事業名 (具体的な施策)	重要業績評価指標 (KPI) (平成31年度目標値)	H27年度	H28年度	H29年度 (現在値)	現在までの取り組み	担当課	事業効果	外部委員からの 事業評価・意見
【まちづくりビジョン3】 「ひと」づくり ・教育の拠点づくりにより 担い手を育む	3-1	持続可能な生産体制の構築のため、教育拠点づくり	トレーニングファーム 設置数 1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	・【上峰町儲かる農業育成事業】に取り組み、①農産物やマーケット(市場)のデータ分析、②「儲かる農の上峰塾」における経営力強化のカリキュラム、③上峰町ブランド新商品開発等の教育プログラムを実施した。(H28年度)	産業課 /まち・ひと・しごと創生室	「道の駅基本計画」の策定により効果を見込める。	・今後、どのようにトレーニングファームを続けていくか検討してほしい。
	3-2	就農者の若年層の育成による持続可能な生産体制の構築								
	3-3	国際感覚育成のための教育拠点づくり	上峰町の小学校に転入学した児童数 10人	11人 (単年)	14人 (単年)	8人 (単年)	・グローバル人材の育成のため、平成27年度にタブレットPCを活用して公立学校として全国初オンライン英会話授業をスタートさせた。 ・日韓交流事業として、上峰中学校と大神中学校・高校との間で相互訪問(ホームステイ)を行っている。	教育課	相当程度効果があった。	・国際競争力を持った担い手の育成という目標達成に有効である。
【まちづくりビジョン3】「ひと」づくりに係る数値目標(5年間累計): 新規就農者 10人										

基本目標	事業番号	事業名 (具体的な施策)	重要業績評価指標 (KPI) (平成31年度目標値)	H27年度	H28年度	H29年度 (現在値)	現在までの取り組み	担当課	事業効果	外部委員からの 事業評価・意見
【まちづくりビジョン4】 「地域」をつなぐ ・時代にあった地域をつくり地域と地域を連携する	4-1	「人と地域」をむすぶ、魅力の発信拠点づくり	交流人口 100,000人増	6,100人増	-	-	・平成28年度より「魅力発信拠点づくり事業」の一環として、町内モニターツアーの実施、「つばきの森トレイル(鎮西山)」の開催、観光パンフレット(ガイドブック)の作成、王将戦の誘致等に取り組んでいる。 ・鎮西山を重要な観光資源として位置づけ、ツバキの植樹を行うとともに、今後の再整備に向けた構想づくりに着手している。 ・平成29年3月に観光振興や地域活性化を目的とする一般社団法人起立工商(きりゅうこうしょう)協会が設立された。(H29年11月に観光庁の審査を経て日本版DMO候補法人に登録)	まち・ひと・しごと創生室	効果を上げるため、今後も取り組みを継続する。	・効果のあるイベントは、今後も継続的にやるべき。また、よりPRに力を入れてほしい。 ・KPIの交流人口は何のデータを使用すべきなのか、また測定が難しいのではないか。
			(観光客数:佐賀県観光動態調査) (基準値:H26年371,900人)	(H27年378,000人)	0ヶ所	2ヶ所 (累計)				
【まちづくりビジョン4】「地域」をつなぐに係る数値目標(5年間累計): 交流人口増 100,000人										